



ATSUMA LOVERS

「こんにちは。温かくなってきましたね」。屈託のない笑顔の挨拶が、一日のスタートです。昨年10月に責任者として着任しました。機能訓練室やプールなどで町民の心と体の健康づくりに汗を流し、「元気の輪を広げたい」と意欲を燃やしています。鹿野さんを訪ね、胸中を語ってもらいました。



Vol.12 シンコースポーツ株式会社
(機能訓練室の運営委託会社)
しかの ゆか
鹿野 優花さん(26歳)

自分を磨き町を盛り上げたい

実家の苫小牧市から、毎日、自家用車で通勤しています。「キャンプが好きで、車で北海道1周旅行するなど、典型的なアウトドア派です」と自己紹介してくれました。スポーツジムへの就職希望があり、個人で通っていたジムの知人に「うちで働かないか」と声を掛けられて就職。会社の先輩から「厚真の人は温かくて働きやすいと思う」と送り出されました。「土地勘はありませんでしたが、実際、

親類と話しているようで、皆さん優しさをおすそ分けしてくれます。来てよかったと思っています。機能訓練室では、コロナ禍での予防対策に細心の注意を払っています。「皆に会えるから、ここに来るのが楽しみだよ」と話す高齢者も多く、休館にならないように努力を怠りません。マスク着用はもちろん、利用者の検温や血圧の測定、部屋の換気、トレーニング機器の消毒…。また、プールでは、

利用者が率先してフェイスシールドを着用するなど、運営者も利用者も互いに協力し合って施設が成り立っていました。普通救命講習の受講やヨガのインストラクターの資格を取得するなど、着任して5カ月は、あっといふ間だったそうです。また、健康運動実践指導者という資格の取得に向けた準備も始めました。「健康の維持や向上には個人差があります。一人一人にあった運動プログラムも考えていきたい」と今後を見据えました。

人との会話を大切にし、人生の一端を学んでいるといいます。利用者との話の節々から「さらに元気な良いマチにしたい」という思いを感じるそうです。誰もが気軽に集い、笑顔あふれる施設にするのが、これからの目標です。

「自身を磨きながら、厚真の一員として町を盛り上げたいと思います」。

あなたにとっての
愛すべき厚真を投稿してください



フェイスブック
@atsumatownhokkaido



Instagram
atsumalovers

ハッシュタグ#atsumaloversをつけてフェイスブックまたはInstagramに投稿してください。

ATSUMA LOVERS